

EY JAPAN - 顧客との関係性を確固たるものとする情報をFTから得る

professional.ft.com



課題

EY Japanのアドバイザーは、日本企業の様々な分野について深い知識を持つ事だけでなく、企業のビジネスに影響を及ぼす可能性のあるグローバルな問題について幅広く認識することを期待されている。

解決策

EY JapanはFTの法人契約を通じて、すべての人々に質の高いマーケット・インテリジェンスを提供している。FTは時事問題に精通するために必要な情報と、世の中の流れに先駆けて問題を特定する為に役立つ独自の洞察を提供している。

効果

FT.comを購読したことにより、EY Japanのチームがグローバルおよびローカルレベルでビジネス上の課題を理解できるようになった。FTの法人契約はEY Japanがクライアントに、より適切なアドバイスを提供するための知識を提供している。



「FTほどの質と情報を提供するものはなかなか見つかりません。」

アンドリュー・カウエル
EY JAPAN 鉱業・金属セクターリーダー／EY JAPAN

グローバルな課題を通じた日本企業の指導

企業がビジネス上の課題を解決することをサポートすることは、プロフェッショナル・サービス企業EY Japanにとって重要な目標だ。EY Japanのアドバイザーは、変化の激しい世界で適応し成功するために必要なサポートをクライアントに提供し、それは、信頼、コンサルティング、戦略、取引、税という4つのサービスの重要な柱に基づいている。

世界経済が繋がっているということは、マクロイベントや国際政治、そしてビジネスや社会のトレンドがすべて日本の組織に影響を与えることを意味する。そのため、EY Japanのアドバイザーはクライアントの業界を深く理解するだけでなく、他の分野や地域からの新しい視点や洞察をもたらした上での戦略を提案することを期待されている。

FTは多くの複雑な課題において、トレンドを特定して効果的な提案をするために必要な、グローバルマーケットインテリジェンスにおける信頼性の高い情報源をEY Japanのアドバイザーに提供している。

主要な情報源

EYはグローバルな企業ネットワークを持ち、あらゆる規模・業界の200,000を超える顧客とビジネスをしている。EY Japanは新興企業から大規模な複合企業まで、またメディアからヘルスケアまで、助言をしている組織の分野は多岐にわたる。

アンドリュー・カウエルさんは、税務、取引、企業再編、リスク管理の分野で日本の多国籍企業にアドバイスした経験を持つグローバル・クライアント・サービス・パートナーだ。「FTは私が朝一番に目を通す媒体で、今まで、そして今でも私の主な情報源です」「FTは、広い意味でのグローバル・ニュースを提供してくれます」と彼は説明する。

クライアントに提供する中核サービスが「知識」であるプロフェッショナル・サービスにおいては、幅の広い情報を得ていることが極めて重要である。EY税理士法人 アソシエイトパートナーであるカウレッド・テレーズさんは、EY Japanのナレッジ・リーダーとして活動し、税務専門家が自社の商業的認識を鋭く保つために必要な情報にアクセスできるようにするミッションを持つ。

私のクライアントとなるのは、重要なアカウントを担当しているEY Japanの税務専門家達です。彼等がFTなどのグローバルなコンテンツやツールを利用できるということを内部で周知する事に焦点を当てています」とカウレッドさんは言う。

FTは国際的なニュースソースとし知られているが、カウレッドさんはそれに加えて日本のビジネスや企業の現地での報道としてもFTは貴重な情報源の一つである

「日本のマーケットについて詳しく述べている世界的なメディアは非常に少ないと思います。特に日本語を話さない人たちにとって、FTの日本企業、経済、文化について書かれた記事は特に貴重な情報源となっています」と彼女は説明する。



時代の先を行くための情報をいち早く入手する

日々クライアントと向き合うアドバイザーは、彼らの信頼性を維持・向上させるために商業的な見識を示すことを常に要求されている。FTはクライアントとアドバイザーの関係を強化するためにどのような役割を果たしているのだろうか。「関係性を確固たるものにするために役立っています」とカウエルさんは回答する。「クライアントとの会話の中でFTの記事で得た情報との繋がりを見出す事で、一歩踏み込んだ話をする事ができます」

そのためには、適切なタイミングで適切な情報に即座にアクセスできることが重要である。「私の役職では情報の幅を持っている事が大切です。社内のパートナーが私のところへクライアントについて情報を求めて来ることは多々あります」とカウレッドさんは説明する。「その際に最も適切な情報源を利用できることが求められており、それにおいてFTは優れています。」と述べた。

PCやモバイル端末でのFTのコンテンツ利用、またポッドキャストやeメールブリーフィングを通じて、EY Japanのチームは様々なプラットフォームから、クライアントに影響を与える可能性のあるニュースにいち早くアクセスすることで、必要な情報を補うことができる。

FTジャーナリストならではの深い洞察

世界中の600人以上のジャーナリストからなるFTのネットワークは、EY Japanのアドバイザーにニュースの「全体像」把握することを助け幅広いグローバルな視点を提供している。そのようなジャーナリストの質と彼らが生み出す独自の洞察こそが、FTをカウエルさんにとって特に価値のあるものになっている。

「FTには、ジリアン・テットのような独自の視点を持った解説者がいる。Moral Moneyのニュースレターは、私がこれまで見たことのない方法でESGを取り上げ、FTが世の中に先駆けてトレンドを見つけ出す事にいかに優れているかを示しています」と彼は言う。

FTが上層部のビジネスリーダー達や政策立案者にコンタクトを取る事で、カウエルさんは他では見つけることができない洞察に満ちた情報を得ることができる。「例えば、FT編集長のルーラ・カラフ氏がダボス会議のような会議に出席すると、多くの興味深い分析が記事に反映されます。FTジャーナリストが現場で聞いていることを共有し、私自身の考え方とは違った角度での見解を提供してくれます」と彼は言う。

カウレッドさんは、アジアビジネスエディターであるLeo Lewisを、社内とクライアントの両方の会話に役立つ話題を定期的に提供してくれるジャーナリストFTジャーナリストとして挙げてい

“

「日本のマーケットについて詳しく述べている世界的なメディアは非常に少ないと思います。特に日本語を話さない人たちにとって、FTの日本企業、経済、文化について書かれた記事は特に貴重な情報源となっています」

テレーズ・カウレッド
EY税理士法人 アソシエイトパートナー



る。「Leo Lewis氏は、日本の会社について多くのことを書いています。日本の文化や社会についての彼のコメントは、新たな視点を提供するという点でも非常に興味深いものです」カウレッドさんは語る。

FT.comのmyFT機能を使用すると、EY Japanのスタッフは、お気に入りのFT オピニオン・ライターや主要なクライアントやセクターをカバーするジャーナリストをフォローできる。カスタムアラートとeメールブリーフィングを設定することによりリサーチにかかる時間を大幅に節約できる。

FTコンテンツへの柔軟で全社的なアクセス

EY Japanは法人契約を通じて従業員がFTを情報源としていつでも利用できる環境を作る事に成功した。マーケット・インテリジェンスはクライアントと接する機会の多いチームにとって極めて重要だが、カウエルさんは企業全体でFTを利用できるような方法でFTを購読することが大切であると主張している。

「FTが有用であると考えているのは市場知識の観点からだけではない。自社の人事部に相談し、幅広い学習と開発の一環として我々が皆に提供しているものである」とカウエルさんは述べている。

EY Japanの中でも特にコンサルティングなど事業が急速に拡大している部署ではFTを購読する人数が増え続けている。「特にコンサルティング・ラインでFTへの登録者数が増えています」「私はFTの法人契約について、(社内において)頻繁に問い合わせを受けます」「私たちは社内のFT購読者から多くの肯定的なフィードバックを受けています」とカウレッドさんは言う。

FTの法人契約はコストや契約の柔軟性などの観点から、FTの信頼できるコメントや分析などを社内でも共有するための最も効率の良い方法だ。「このようにFTにアクセスできることは我々にとって非常に効果的であり法人契約に投資する価値を強く感じています」とカウエルさんは結論づけている。



“

「このようにFTにアクセスできることは我々にとって非常に効果的であり法人契約に投資する価値を強く感じています。」

アンドリュー・カウエル
EY JAPAN 鉱業・金属セクターリーダー/EY JAPAN



